

教科	国語	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	単元のまとまりの評価規準		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
なかよしの き	姿勢や口形、発声に注意して話している。	「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。	進んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって内容や感想を話し合おうとしている。
たのしい いちにち	姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。	「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。	積極的に姿勢や口形、発声や発音に注意して、学習の見通しをもって挨拶をしようとしている。
わたしの なまえ	姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。	「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。	積極的に姿勢や口形、発声や発音に注意して、学習の見通しをもって名前を紹介し合おうとしている。
おはなし たくさん ききたいな	読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。		積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって感想を発表しようとしている。
こえの おおきさ どれくらい		「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。	積極的に姿勢や口形、発声や発音に注意して、学習の見通しをもって話そうとしている。
かいて みよう	平仮名を読み、書いている。		進んで平仮名を読んだり書いたりし、学習課題にそって言葉を書こうとしている。
みつけて はなそう、たのしくきこう	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。	「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。	積極的に互いの話に関心をもち、学習の見通しをもって尋ねたり応答したりしようとしている。
くまさんと ありさんの ごあいさつ	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。	進んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって内容や感想を伝えようとしている。
ほんを よもう	読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。		積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって感想を伝え合おうとしている。
けむりの きしゃ	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。	進んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって登場人物に手紙を書こうとしている。
せんせい、あのね	文の中における主語と述語との関係に気付いている。	「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。	進んで主語と述語との関係に気付こうとし、学習の見通しをもって簡単な文章を書こうとしている。
みんなに はなそう	丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使っている。	「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。	積極的に丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付け、今までの学習を生かして身近なことを話そうとしている。
よく みて かこう	言葉には、事物の内容を表す働きを伝える働きがあることに気付いている。	「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。	進んで経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、学習の見通しをもって記録する文章を書こうとしている。
すずめの くらし	長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名を読み、書いている。	「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。	積極的に時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって分かったことや思ったことを紹介しようとしている。
しらせたい ことを かこう	長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。	積極的に長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解し、学習の見通しをもって簡単な文章を書こうとしている。
としょかんへ いこう	読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。		積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって本を紹介しようとしている。
おはなしの くに	読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。	「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。	積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって本を読もうとしている。
おおきな かぶ	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。	進んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって内容や感想を伝えようとしている。

えにつき	長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。	積極的に事柄の順序に沿って簡単な構成を考え、今までの学習を生かして絵日記を書こうとしている。
なつの おもいでを はなそう	姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。	「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。	積極的に話し手が知らせたいことを落とさないように聞き、学習の見通しをもって質問や感想を言おうとしている。
けんかした 山	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。	進んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって考えたことを発表したり文章にまとめたらしめている。
(みんなで たのしく よみましよう。)	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。	進んで文章を読んで感じたことを共有し、学習の見通しをもって役割を決めて音読しようとしている。
だれが、たべたのでしょうか	文の中における主語と述語との関係に気付いている。 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。	積極的に時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって分かったことや思ったことを話そうとしている。
たのしかった ことを かこう	長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。 「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。	進んで経験したことから書くことを見付け、学習の見通しをもって文章を書こうとしている。
かぞえた	当該学年に配当されている漢字を読んでいる。 長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付いている。		進んで漢字を読み、学習の見通しをもって文や文章の中で使おうとしている。
しを よもう あめの うた	文の中における主語と述語との関係に気付いている。	「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。 「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。	進んで文章を読んで感じたことを共有し、学習課題に沿って登場人物に宛てて手紙を書こうとしている。
見つけたよ、いきものの ひみつ	長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。	積極的に経験したことから書くことを見付け、学習の見通しをもって文章を書こうとしている。
かかれて いる ことを たしかめよう	身近なことを表す語句の量を増し、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。 長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。	「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。	進んで時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって分かったことを説明しようとしている。 進んで事柄の順序に沿って簡単な構成を考え、学習の見通しをもって「のりものカード」を書こうとしている。
えを 見て おはなししよう	身近なことを表す語句の量を増し、話の中で使っているとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。	「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。	進んで話題を決め、学習課題に沿って少人数で話し合おうとしている。

しゃんと 文から、だれが なにを したかを たしかめよう	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。 長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。 「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。 「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。	進んで場面の様子に着目して登場人物の行動を具体的に想像し、学習の見通しをもって考えた言葉を発表しようとしている。 進んで想像したことから書くことを見付け、今までの学習を生かして簡単なお話を書こうとしている。
天に のぼった おけやさん	昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くことで、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。	「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。	進んで昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、学習の見通しをもっておもしろかったところを発表しようとしている。
ころ ほかほか 手がみを かこう	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。	「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けているとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。	粘り強く文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正し、学習の見通しをもって手紙を書こうとしている。
ばめんの ようすを くらべて よもう	読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。	「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。	進んで場面の様子に着目して登場人物の行動を具体的に想像し、学習課題に沿って考えた言葉を発表しようとしている。 積極的に文章を読んで感じたことや分かったことを共有し、今までの学習を生かして「おはなしどうぶつえん」を作り、本を紹介しようとしている。
しを たのしもう	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。	進んで言葉の響きなどに気を付けて、学習の見通しをもって音読しようとしている。
ぶんしょうと えを あわせて よもう	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。	「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。	積極的に文章の内容と自分の体験とを結びつけて、学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。
きいた ことを 正しく つたえよう	姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。	話すこと・聞くことにおいて、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。 「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。	進んで伝えたい事柄や相手に応じて声の大きさや速さなどを工夫し、今までの学習を生かして聞いたことを伝えようとしている。
ことばで つたえよう	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。		進んで、言葉には事物の内容を表す働きや経験したことを伝える働きがあることに気付こうとし、学習課題に沿って言葉で表そうとしている。
つたえたい ことを おもい出して かこう	長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けているとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。 「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。	積極的に文章に対する感想を伝え合い、学習の見通しをもってよいところを伝え合おうとしている。

しりとりで あそぼう	音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付いている。		進んで音節と文字との関係に気付こうとし、今までの学習を生かしてしりとりを楽しもうとしている。
ようすを おもいかべながら よもう	文の中における主語と述語との関係に気付いている。	「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。 「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。	進んで文章を読んで感じたことを共有し、学習課題に沿って登場人物に宛てて手紙を書こうとしている。
漢字	当該学年に配当されている漢字を読んでいる。		進んで当該学年で配当されている漢字を読み、学習の見通しをもって読んだり書いたりしようとしている。 積極的に漢字を読み、学習課題に沿って音読しようとしている。 進んで漢字を読み、今までの学習を生かして使い方によって複数の読み方がある漢字を知ろうとしている。 積極的に漢字を読み、学習課題に沿って形の似た漢字を正しく読んだり書いたりしようとしている。
言葉	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。 音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。 長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。 片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。 長音、拗音、促音、撥音などの表記の仕方を理解して文や文章の中で使っている。また、また、平仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。 文の中における主語と述語との関係に気付いている。 身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使っていると同時に、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。	「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。 「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。	積極的に姿勢や口形、発声や発音に注意して、学習の見通しをもって音読しようとしている。 積極的に濁音・半濁音の表記、句点の打ち方を理解し、学習課題に沿って簡単な文を書こうとしている。 積極的に平仮名を読み、今までの学習を生かして五十音表の特徴に気づこうとしている。 積極的に長音の表記の仕方を理解し、学習の見通しをもって読んだり書いたりしようとしている。 積極的に時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉え、学習の見通しをもって分かったことや思ったことを紹介しようとしている。 進んで語のまとまりや言葉の響きなどに気を付け、学習の見通しをもって音読しようとしている。 積極的に促音の表記、読点の使い方を理解し、学習課題に沿って簡単な文を書こうとしている。 積極的に助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方を理解し、学習の見通しをもって簡単な文を書こうとしている。 進んで身近なことを表す語句の量を増し、学習課題に沿って読んだり書いたりしようとしている。 積極的に片仮名で書く語の種類を知り、学習の見通しをもって読んだり書いたりしようとしている。
こくごの がくしゅう これまで これから			進んで話題を決め、今までの学習を生かして思い出したことや二年生でどんな学習をしたいかを共有しようとしている。